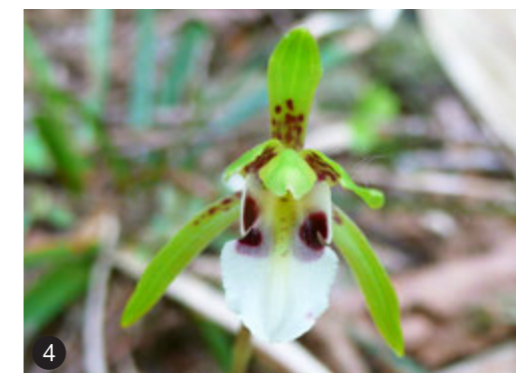
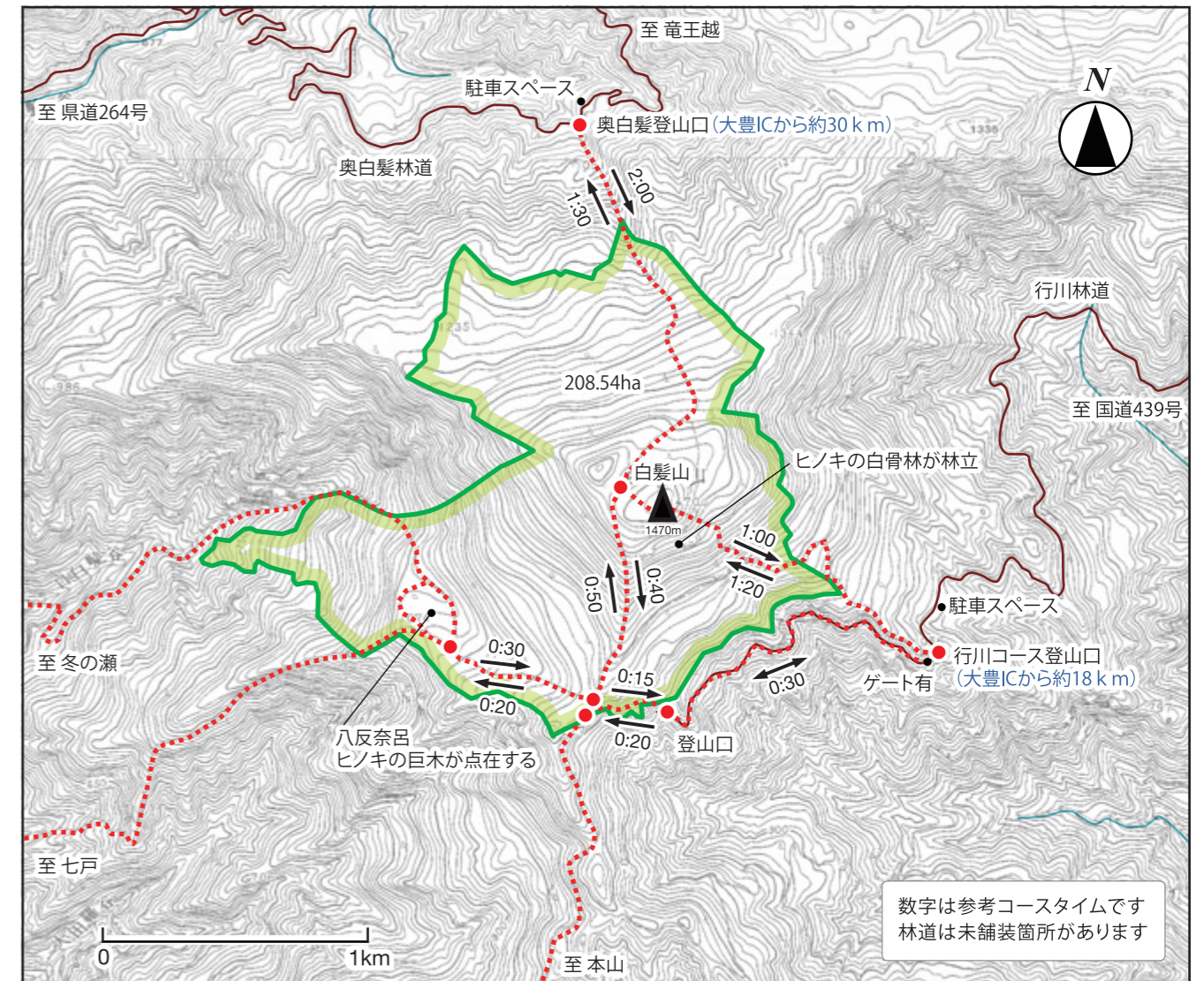


# 白髪山天然ヒノキ 林木遺伝資源保存林

白髪山は蛇紋岩から成る特殊な地質のため広葉樹が発達せず、天然ヒノキが多く自生しています。最も有名なヒノキ林は、山頂南側付近の白骨林(下写真)で、立ち枯れした数千本の白骨林が自然の厳しさを感じさせてくれます。また、八反奈呂と呼ばれる場所では、ヒノキの巨木が点在し、ヒノキの根が「たこ足状」に広がった「根下がりヒノキ」を見ることができます。



①霧に包まれたヒノキの巨木。②幹の途中から気根が出たヒノキ。ヒノキでこれほど気根が発達することは珍しいです。③根で合体したヒノキ。下には歩道があり、通り抜けることができます。(写真①～③は八反奈呂にて撮影) ④コイチヨウラン(5月)。標高の高い針葉樹林下に生えるラン科植物です。⑤上空から見た保護林。白髪山はヒノキなどの針葉樹が多いため、落葉時期でも深い緑に覆われています。また、約4km北側には「高知県・本山町竜王山郷土の森」があります。